

英語科学習指導案

平成28年11月24日(木)第5校時
第6学年1組 場所 3階多目的ホール
HRT: 黒岩佐登美 ALT: David Leek

1 単元名 地域を案内しよう

2 考察

(1) 教材観

①学習内容: 学習指導要領上の位置付け

- 1-(1)外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。
- 1-(2)積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。

②主な伸ばしたい資質・能力

- ・相手意識をもって学習を進め、英語を話すことの必要感をもちながら英語を使って積極的にコミュニケーションをとろうとする意欲。【関心・意欲・態度】
- ・例文だけのコミュニケーションだけでなく、相づちやジェスチャーの重要性に気付き、会話の中で積極的に使おうとする態度。【表現の能力】
- ・孺恋村の名所を伝えたり、コミュニケーションを持続させたりするための基礎的な表現の能力や理解の能力。【理解の能力】
- ・英語と日本語で名所の言い方や道案内に必要な表現の違いに気付き、理解する能力【知識・理解】

③そのために必要な指導・学習活動

- ・新しく来たALTに孺恋村を紹介する場面を設定し、児童に必要感をもちさせた上で、Where is the~? Go straight. Turn right/left. Stop. Here is the ~.という表現を使って、ALTに伝える活動。
- ・建物や道案内の言い方に慣れ親しむ活動。
- ・孺恋村にある名所の名前が英語を使うと違うことに気付き、その言い方に慣れ親しむ活動。
- ・基本文以外にも、Excuse me. や I'm sorry. I don't know.や Thank you. OK. Have a nice day. など会話を成り立たせている言葉を使うことで、感情を表したり、深まりのあるコミュニケーションがとれたりするようにさせる指導。
- ・友人や教師と英語でコミュニケーションをとるなかで、児童を称賛するような言葉がけを行うことで、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを味わわせる指導。

④今後の学習の活用

- ・ありがとうレターを書く活動
- ・自分の夢を伝え合う活動
- ・お気に入りのものや場所を紹介する活動

(2) 児童の実態及び指導方針(男子24人、女子14人、38人)

①既習の学習内容や活動

- ・自分のことを紹介する活動を通して、I can /can't~. を使い、自分のできることできないことを友達に分かりやすく紹介する活動をしてきた。また、Can you~? を使って質問したり、Yes, I can. / No, I can't で答えたりする活動をしてきた。
- ・「一日の生活を伝えよう」の活動を通して、What time do you ~?を使い、友達的生活時刻を質問したり、I get up at seven.のように分かりやすく答えたりして、互いにコミュニケーションをとる活動をしてきた。
- ・基本文だけでなく、ジェスチャーを交えて話すことで、相手に分かりやすく伝える学習をしてきた。

②実態及び方針

- ・学級全体として英語活動に取り組む意欲は旺盛で、アクティビティの活動では誰とでもコミュニケーションをとることができる。授業外で既習事項の英文や単語を使って楽しみながら友人とコミュニケーションをとる児童もいる。
- ・単元で使用する基本文だけでなく、相づちや、会話の中で使う文を入れながら会話を続けることで、

深まりのあるコミュニケーション活動が行えるようにする。

- ・言語によるコミュニケーションだけでなくジェスチャーなどの身体表現も交えながらコミュニケーションがとれるよう、授業の中で教師が積極的に使ったり、様々なジェスチャーを紹介したりする。
- ・コミュニケーションの5つのポイントを毎時間確認させ、児童に相手に分かりやすく伝えようとする意識をもたせる。
- ・英語でコミュニケーションをすることに自信がもてるよう、様々なタイミングで児童を称賛する。
- ・授業の振り返りを発表させることで、互いのよさや気付きを共有できるようにする。
- ・国語科の単元「ようこそ私たちの町へ」に関連づけて孺恋村を紹介するパンフレットを作成させ、本単元の関心・意欲が高まるようにする。

3 単元の目標

英語と日本語とでは名所の言い方が違うことを知り、名所を尋ねたり、道案内したりすることができる。

4 主な表現や語彙

○場面 「孺恋村の名所をALTに案内する。」

○新出表現

Where is the school? Go straight. Turn right/left. Stop. Here is the school.

Excuse me. I'm sorry. I don't know.

○語彙

- ・共通して使うもの：Excuse me Where is the～
Go straight. Turn right/left. Stop. Here is the～.

・選択して使うもの

建物（hospital, supermarket, fire station, police station, など）

孺恋の名所（鎌原観音堂 ○○スキー場 ○○温泉 など）

相づち・返事（I'm sorry. Thank you. OK. You're welcome. など）

5 指導と評価の計画（全5時間計画 本時は第5時）

評価規準	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ジェスチャーなどを使い、相手意識をもって名所を尋ねたり道案内したりしている。		主な学習活動	コ	表	理	知
	表現の能力	名所を尋ねたり道案内したりしている。						
	理解の能力	名所を尋ねたり道案内したりする言い方が分かっている。						
	言語や文化についての知識・理解	名所や方向を示す言い方が分かっている。						
時間	主な内容	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動	コ	表	理	知
		知識	技能等					
1	名所や方向を示す言い方を知る。	名所や方向を示す言い方が分かる。		・コマンドゲーム ・おはじきゲーム				○
2	名所を尋ねたり道案内したりする言い方を知る。	名所を尋ねたり、道案内したりする言い方が分かる。		・「目的地はどこだ」ゲーム ・聞き取りゲーム			○	
3	名所を尋ねたり道案内したりする。		名所を尋ねたり道案内したりすることができる。	・ステレオゲーム ・トレジャーハンティングゲーム		○		

	主な内容	知識	技能	主な活動	コ	表	理	知
4	名所を尋ねたり道案内したりして地図を作る。		場面にあった表現を使い、名所を尋ねたり道案内したりすることができる。	・地図作りゲーム		○		
5 (本時)	婦恋村を ALT に紹介する。	道を尋ねたり、案内したりする言い方が分かる。	ジェスチャーや相づちを使って目的地まで道案内することができる。	・地域を案内しよう。	○			

◎ 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標 (第6学年)

話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
・自分の思いや考えを、簡単な表現で何とか相手に伝えることができる。	・慣れ親しんだ語や文を書き写すことができる。	・類推しながら、内容を理解することができる。	・慣れ親しんだ語を見て読むことができる。

6 本時の展開

(1) ねらい

相手意識をもって名所を尋ねたり道案内したりすることができる。

(2) 準備

建物の絵カード、婦恋村を簡略化した地図、ワークシート

(3) 使用表現

Excuse me. Where is the~? Go straight. Turn right/left. Stop.

Here is the ~. I'm sorry. Thank you! You're welcome. など

(4) 展開

学習活動	時間	支援及び指導上の留意点	
		HRT	ALT
(Greeting) 1 簡単なあいさつをする。	5	○日付や曜日、天気について簡単なあいさつを行う。 ○カードパッシングゲームを行い、授業の雰囲気作りをする。	○元気よくあいさつを行う。 ○児童の様子を観察し、楽しい雰囲気のでゲームが行えるよう声かけをする。
(Presentation) 2 HRT と ALT の会話を聞いて内容を類推する。	5	<p>HRT: Hello, David. ALT: Hello, Ms.Kuroiwa. HRT: Welcome to Tsumagoi. How is your Tsumagoi life? ALT: Great! Beautiful nature. Good food. Nice students! HRT: Oh, good! ALT: Ms. Kuroiwa, I want to go to Kambara Kannon. Where is the Kambara Kannon? HRT: OK. Go straight. Turn left. Go straight.... That's it! ALT: Thank you. I want to go there this weekend. HRT: Oh, good idea. I think you will like it!</p>	

<p>3 活動のめあてを確認する。</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">新しい先生に孀恋の場所を道案内しよう</div> <p>○新しく来たALTに孀恋村の名所や建物の場所を紹介し、早く孀恋村に慣れてもらうように伝える。</p>	<p>○行ってみたい名所や興味のある場所を伝えるなどして興味をもたせる。</p>
<p>(Practice) 4 名所の名前と基本表現を練習する。 Excuse me. Where is the～? Here is the ～. I'm sorry. I don't know. Thank you!</p>	5	<p>○基本表現が繰り返し練習できるような支援を行う。 ・黒板に掲示しながら確認する。 ・Where is the～?の後に続く言葉を建物の名前に替えて練習する。 ・全体で場所を表す言い方を練習する。</p>	<p>○カードの出し方を工夫したり、発声を小グループで行ったりして、児童一人一人が自信をもって取り組めることができるよう支援する。</p>
<p>(Main activity) 5 「地域を案内しよう」に取り組む。</p>	20	<p>○コミュニケーションの方法を確認し、笑顔・聞き取りやすく・相づちを打ちながら聞くように伝える。</p> <p>○「地域を案内しよう」に取り組む。 ・前時に作った孀恋村の地図をもとに練習する。 ・グループごとに先生役と児童役を決めて練習する。 ・HRT、ALTがそれぞれのグループを回りながら目的地への行き方を聞く。 ・道案内は、一人が一言ずつ行い全員が発声できるようにする。</p>	<p>○グループを回りながらそれぞれのグループに紹介されている場所を質問する。 ・児童が聞き取りやすいよう、はっきりゆっくり質問するようにする。</p> <p>○グループに対して1つの名所までの行き方を尋ねる。</p>
<p>(Closing) 6 パフォーマンステストと本時のまとめをする。 ・ALTに分かってもらえるか不安だったけど、伝わって良かった。 ・ジェスチャーを使って道案内すれば、もっと分かりやすいと思った。</p>	10	<p>○パフォーマンステストを行う。 ・HRT、ALT「Where is the～?」児童「OK. Go straight. Turn left..... That's it!」 ・グループごとに行い、待っているグループには道案内の補充のプリントに取り組みせる。</p> <p>○本時の振り返りを発表させることで、気づきや考えを共有できるようにする。</p>	<p>○パフォーマンステストを行う。 ○児童を称賛する言葉がけを行い、意欲をもたせるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">【コ】相手意識をもって目的地(名所)への行き方を尋ねたり、道案内したりしている。(パフォーマンステスト、振り返りカード)</div>